

# 動画教材の概要「ごみの処理と利用」



時間・場面

映像

ナレーション・セリフ

0:10

ごみ置き場・  
ごみ収集の様子



私たちが生活すると、たくさんのごみが出ます。みなさんが出したごみは、その後どうなるのでしょうか？

私たちの家庭から出るごみは、それぞれの家庭で、燃やすごみ・缶・ビン・ペットボトルなど種類ごとに分けられます。

それぞれの種類のごみは、決められた日にごみ置き場に出されます。

0:40

ごみ収集車の  
回収作業



ごみ置き場に出されたごみは、ごみ収集車で決められた日に、決められた場所で、集め忘れのないように、計画的に集められています。

0:58

作業員の  
インタビュー



「雨の日も風の日も決められた日にごみを集めています。私たちが仕事を休んだら、町にごみがあふれてしまいます。」



「ガラスや竹串みたいにとがったものが手にささったり、スプレー缶が破裂してごみ収集車から火が出たこともあります。危険なごみもあるので結構苦労します。ごみを出す時は決められたルールを守って、正しいごみの出し方をしてほしいと思います。」

2:23

燃やすごみの  
処理の様子



出されたごみは大きく分けると燃やして処理をするものと、リサイクルして他のものに生まれ変わる処理をするものに分かれます。

どちらでもないものや燃やした後の灰などは埋め立てられます。

燃やすごみが処理される様子を見てみましょう。

2:33

収集車搬入の様子～  
ごみピット内の様子



ごみ収集車でそれぞれの場所で集められたごみは、クリーンセンターと呼ばれる、燃やすごみを処理する施設に運ばれます。

クリーンセンターでは、出されたごみを溜め、大きなクレーンでつかんで運び、燃やす処理へと進んでいきます。



この施設では、1日に200トンのごみを燃やします。1か月の量にすると、学校のプール25杯分にもなります。

## 時間・場面

## 映像

## ナレーション・セリフ

4:01

作業員の  
インタビュー



「この施設では1日に200トンの燃やせるごみを処理しています。」  
 「燃えるときに熱は、発電機や温水プールで利用しています。」  
 「水分の多い生ごみは燃えにくいのです。費用がたくさんかかるので、少しでもごみを減らしてほしいですね。」

4:26

リサイクル工場  
の様子



分別されたごみのうちリサイクルされるものの行方はどうなっているのでしょうか。

4:38

大量のペットボトルが  
集められた様子



ごみ収集車で集められた缶、ビン、ペットボトルなどはリサイクル施設に運ばれ処理されます。  
 リサイクル施設に集められた缶・ビン・ペットボトルは、機械で磁石や風の力を使って、それぞれの種類ごとに分けられます。

5:02

工場での選別作業や  
処理の様子



また、機械だけで分けることのできないごみや汚れがひどいものなどは、人が手作業で選別して取り除きます。ただし、汚れがひどいものはリサイクルができません。

5:18

作業員の  
インタビュー



「機械だけで、全ては処理ができないので、人が手作業で資源ごみを分けています。違う種類のごみが入っていると、作業が本当に大変です。決められた方法で分別してほしいです。」

5:48

リサイクルの  
事例を紹介



リサイクルするものは、種類ごとに分けられ、機械で潰してまとめた後、別々の工場に送られ、様々なものに生まれ変わっています。

6:06

埋立てごみ  
の処理の様子



燃やした後に出る灰や、燃やしたりリサイクルできないごみは埋め立てられることになります。



ここでは、ごみが飛び散るのを防ぐために、土を被せながら埋めていく方法で処理しています。

6:28

振り返り  
自分たちの町の  
ごみ処理について  
考える



みなさんが出したごみが、どのように処理されるかわかりましたか？  
 みなさんの住んでいる町では、どうなっていますか？

●この教員用動画内容説明資料のデータは付属のCDディスクに収録しています。